

才の木トークカフェ
2020年までの国際スポーツイベントにおける木材利用

森林・木材認証制度の概要と国内外の現状

日本大学客員教授
小林紀之
2015年2月7日

目次

1. 定義、概念
2. 歴史的経緯
3. 各制度の概要(3-1~3-3)
4. 各制度の認証面積、件数(4-1~4-3)
5. 認証、認定とスキーム(5-1、5-2)
6. 国際スポーツイベントでの木材利用とわが国の森林認証制度の課題(6-1~6-3)

1. 定義、概念

森林認証制度とは定められた方法で森林を認証するとともに、認証された森林から産出された木材および木材製品(認証材)、紙製品を分別し、表示管理することにより、消費者の選択的な購入を促す仕組み。(森林・林業白書、2014、一部改変)

森林認証は、対象とする森林が森林保全に配慮し、森林の多面的な機能が持続的に将来にわたり維持できるようマネジメントされていることを認証する制度である。
あらかじめ定められた基準・指標に基づき客観的に第三者機関により審査された上で認証される仕組み。

製品の認証のことをCoC認証と称す。(Chain of Custody)

2. 歴史的経緯

- ・1980年代:熱帯材不買運動等背景に環境NGO等により提起
- ・1993年:FSC設立(Forest Stewardship Council)
- ・1998年:ISO/TR14061 発行(ISO版森林認証)
- ・2003年:PEFC設立(Program for The Endorsement of Certification Scheme)
- ・1999年:SGEC森林認証制度設立(Sustainable Green Ecosystem Council)

3-1. SGECの概要

正式名称：(一社)緑の循環認証会議(佐々木恵彦会長)
(Sustainable Green Ecosystem Council)

設立経緯：2003年林業団体を中心に、日本にふさわしい森林
認証制度として発足

森林管理(FM)認証：SGES森林管理認証基準(7基準)
指標(36指標)・ガイドラインに基づく森林管理の認証
(基準はモンリオールプロセスに準拠)

CoC認証：SGEC CoC認証ガイドラインに基づく認証林産物
(認証材等)の生産・加工・流通工程管理の認証

認証機関：(社)日本森林協会等6機関

ホームページ：<http://sgec-eco.org>

3-2 PEFCの概要



設立前史：1998年Pan European Forest Certification Scheme (旧PEFC)—ヘルシンキ・プロセスの基準指標とISO/TC14061をベースに構築

相互認証制度：ヘルシンキプロセス、モンリオールプロセスや「ITTOの基準・指標」に基づく各国の認証制度を認定する相互認証 (endorsement)

相互認証数：28の森林認証制度 (アジアから中国、インドネシア、マレーシア)、評議会メンバー、34カ国35森林認証制度
PEFCアジアプロモーションズ：<http://www.pefcasia.org>

3-3 FSCの概要



設立背景: 1980年代欧州、米国での熱帯材不買運動等を背景にNPO等により提起

FSCの組織: メキシコ、オアハにメキシコ法人格の非営利会員組織として設立 (1993年)

ドイツ、ボンに事務局機能設立(ドイツ法に基づく非営利有限責任組織)—2002年

認証機関の認定、評価はAccreditation Service International

FSC商標管理はFSC Global Development(ボン)

日本の窓口組織、(特)日本森林管理協議会

認証制度: FM認証、CoC認証(チェックツリーマーク)

FSCの基準: FM認証は森林管理の10の原則と56の規律に基づく(大幅改定中)

FSCホームページ: <http://jp.fsc.org>

参考資料: 前澤英士報告、山林1563号、2014.8

4-1 SGEC PEFC FSCの森林認証面積、CoC件数

制度名	認証森林面積	CoC認証件数
SGEC	125万ha	355事業体
PEFC	2.6億ha	10,374件
FSC	1.9億ha (81カ国、127カ国)	27,760件 (113カ国)

資料:

SGEC:2015.1現在、SGECホームページ

PEFC:2011.11現在、PEFCホームページ

FSC:2014.5現在、前澤、「山林」1563号

4-2 主要国における認証森林面積とその割合

資料Ⅲ-33 主要国における認証森林面積とその割合

	FSC (万ha)	PEFC (万ha)	合計 (万ha)	森林面積 (万ha)	認証森林の割合 (%)
オーストリア	0	273	273	389	70
フィンランド	46	2,093	2,139	2,216	97
ドイツ	57	739	796	1,108	72
スウェーデン	1,201	958	2,160	2,820	77
カナダ	6,217	11,740	17,957	31,013	58
米国	1,464	3,112	4,576	30,402	15
日本	40	0	40	2,498	2

注1：各国の森林面積に占めるFSC及びPEFC認証面積の合計の割合。

なお、認証面積は、FSCとPEFCの重複取得により、実面積とは一致しない。

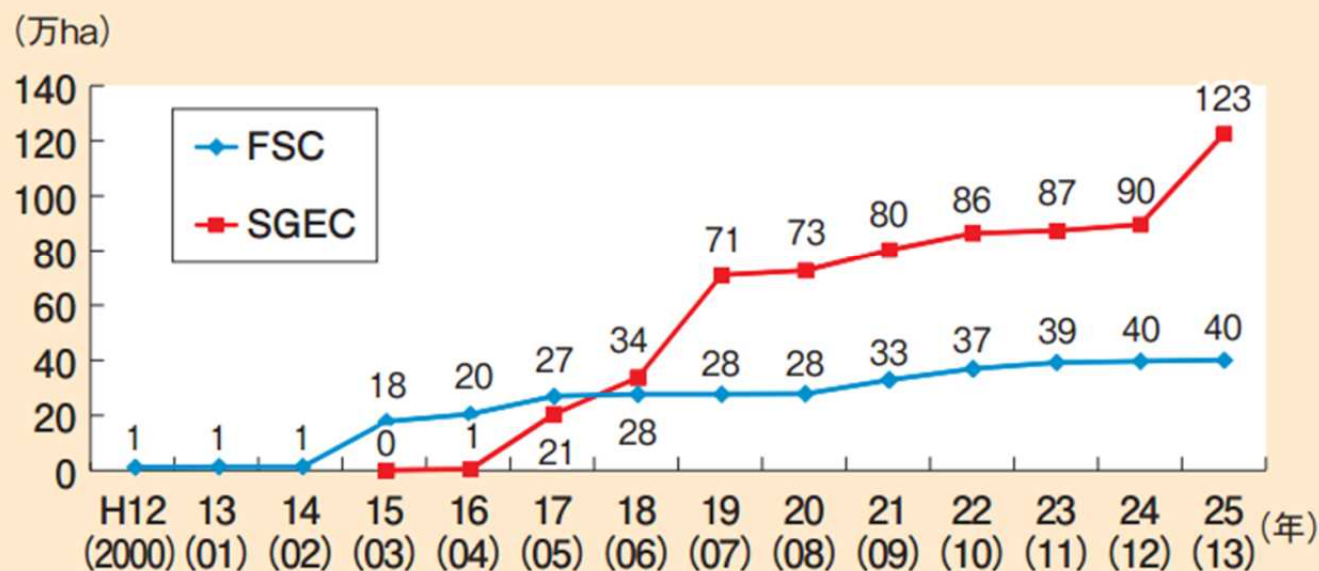
2：計の不一致は四捨五入による。

資料：FSC及びPEFCホームページ、FAO「世界森林資源評価2010」

出典：平成26年版 森林・林業白書

4-3 わが国におけるFSC及びSGECの 認証面積の推移

資料Ⅲ-32 我が国におけるFSC及びSGEC
の認証面積の推移



資料：FSC及びSGECホームページより林野庁企画課作成。

出典：平成26年版 森林・林業白書

5-1 認証と認定

認証：規格の適合性を第三者が確認する行為
(Certification)

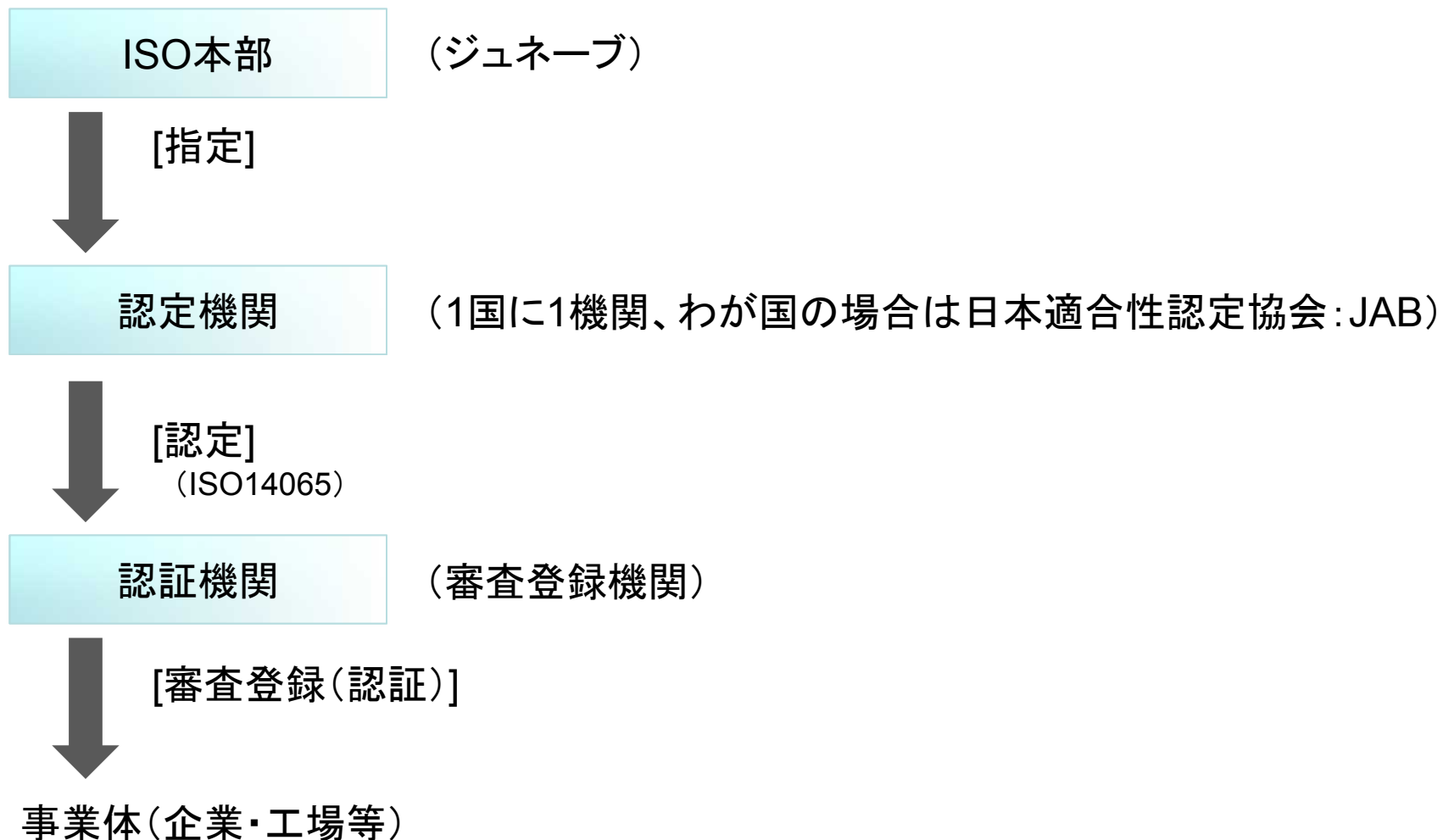
認定：認証を行う機関や人が一定の能力を持ち公正・透明な判断を行える状態にあることを認めて信用を与える行為 (Accreditation)

(大塚直、環境法(第3版)120頁、有斐閣)

認定機関：ある規格に対する認定機関は1国に1つ

5-2 認証、認定スキーム

ISO14001シリーズの認証スキーム



(J-VER、J-クレジット制度も同じスキームを採用)

6-1 SGECとPEFCの相互認証

- SGECを国際的的制度にするには、PEFCとの相互認証が必要
- PEFCの認証機関の要件: ISO/IEC17065 (ISO14065)に基づく認定取得

6-2 オリンピック認証材の要件の検討(課題)

- オリンピック認証材の要件の検討(課題)
- オリンピック関係団体と行政・木材関連団体との協議
- SGECの認証機関対策
- 合法性証明材、持続可能性証明材等の可能性
(国際的認証制度との適合性－第三者認証等)
- 国産材優位性の可能性(課題)

6-3 森林認証制度普及の課題

市場ニーズ(消費者の選択)

国産材輸出(海外市場でのニーズ)

ご清聴ありがとうございました

参考書:「森林環境マネジメント」海青社、2015年3月出版

<http://www.kaiseisha-press.ne.jp>

env.kobayashi.nori@gmail.com